

防人夫妻の絶唱

「万葉集」には、大陸からの攻撃に備えるため、東国で徴集されて北九州に送られた防人とよばれる人々の歌が多数収められています。そして、その最後を飾っている歌が、1月号でも紹介した埼玉郡の藤原部等母麻呂と物部刀自売夫妻の唱和歌 巻20 4423

「足柄の御坂に立して袖振らば 家なる妹は さやに見もかも」、巻20 4424 「色深く 背なが衣は染めましを 御坂たばらばまさやかに見む」です。唱和歌とは、ある一人の歌と、それに答えて他の人が作った一連の歌のことですが、この二人の唱和歌は見事に呼応して夫婦の深い情愛を歌い上げています。

天平勝宝7年(755) 2月20日に武蔵国の防人部領使であった安曇宿禰三國が、難波で兵部少輔であった大伴家持に進献した武

蔵防人の詠出歌20首の中に、この夫婦の唱和歌が含まれていました。家持は、この中から12首を選んで「万葉集」に収録しましたが、この唱和歌を高く評価して防人歌群の最後に収めたと推測されます。

夫妻が埼玉郡のどこに住んでいたのかは、「万葉集」からは判然としませんが、昭和18年に八幡山古墳付近がこの歌ゆかりの地として埼玉県指定史跡に指定されました。物部刀自売が八幡山古墳の被葬者として有力視されている「聖徳太子伝暦」記載の武蔵国造物部連兄麻呂に連なる人物ではないかと推測されたこと、藤原部等母麻呂が藤原氏と関係があると考えられ、藤原氏の氏神を祭る春日神社が比較的近くにあること、この周辺に齋藤、遠藤など「藤」の字をつけた姓が多いことなどが指定の根拠であったようです。その後、藤原部が藤原氏とは無関係であることが判明するなど、指定根拠が揺らぎ、昭和36年に旧跡に指定変更されました。



八幡山公園の万葉歌碑

しかしながら、その直前に八幡山公園内に夫婦の歌が刻まれた歌碑が建立され、今もこの地をゆかりの地として訪れる万葉集ファンは多いようです。学術的な真相解明が望まれるところです。

(文化財保護課 中島洋一)

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。



こぜにちゃんが行く!

行田グリーンアリーナ

平成7年のオープン以来、皆さんの身近なスポーツ施設として親しまれている「行田グリーンアリーナ」を紹介するよ。この施設には、彩の国まごころ国体(平成16年開催)でバレーボールの会場となったメインアリーナをはじめ、柔道場、剣道場、卓球室などがあり、スポーツをする人でいつもにぎわっているんだ。また、26種類のフィットネスマシーンがそろったトレーニング室もあって、常駐トレーナーが最適なアドバイスをしてくれるよ。ちょっと運動をしてみたいと思っているあなた、行田グリーンアリーナで汗を流してみませんか。

※来月号からは、市内の福祉施設を紹介します。

今月の表紙

1月24日、行田グリーンアリーナで第26回行田市なわとび大会が開催されました。

縄跳びを通して小学生の基礎体力の向上を図ることを目的に行われているこの大会に、今年は378人の児童が参加。選手らは時間とびや二重とびなど6種類の個人競技、長なわ1分間とびや長なわ10人並びとびなどの団体競技に臨みました。「自己ベスト更新」や「チームの入賞」などの目標を達成できた選手たちは、大粒の汗を流しながら保護者や仲間と共に喜びを分かち合っていました。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。

■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。

■市報をCD-Rに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



環境にやさしい 植物油インキ

市報ぎょうだは 再生紙を使用しています